

PECB.ISO-22301-Lead-Auditor.v2024-08-26.q70

試験コード:	ISO-22301-Lead-Auditor
試験名称:	PECB Certified ISO 22301 Lead Auditor Exam
認定資格:	PECB
無料問題数:	70
バージョン:	v2024-08-26
アクセス数:	276
ページビュー数:	700
https://www.jpnpdf.com/PECB.ISO-22301-Lead-Auditor.v2024-08-26.q70-mondaishu.html	

最新問題: 1

運用フレームワークを規定する事業継続ポリシーの策定には、どの BCMS プロセスが使用されますか？

- A. 開発と管理
- B. パフォーマンス評価
- C. ポリシーの策定
- D. 管理レビュー

Answer: C (メッセージを残す)

説明

ポリシー策定は、運用フレームワークを定める事業継続ポリシーを策定するために使用される BCMS プロセスです。ISO 22301 によれば、組織は、組織の目的と状況に適した事業継続ポリシーを確立し、事業継続目標を設定するためのフレームワークを提供する必要があります。この方針はまた、BCMS とその継続的改善に対する経営トップのコミットメントを示すものとし、1. ポリシー策定プロセスには次のステップが含まれます2:

ポリシーの範囲と目的を定義する

関連する内部および外部の問題と要件を特定する

BCMS の現状と対処すべきギャップを分析する

ポリシーステートメントと主要な原則とガイドラインの草案を作成する

経営トップによる方針の検討・承認

ポリシーを関連する利害関係者に伝達し配布する

必要に応じてポリシーを監視し、更新します。

ISO 22301:2019、第 5.3 項

ISO 22301 監査電子ブック、24 ページ

最新問題: 2

デミング・サイクルの 4 つの段階とは何ですか:

- A. 計画、実行、確認、行動
- B. 計画、実行、チェック、アクション
- C. 計画、実行、確認、行動
- D. 計画、実行、確認、行動

Answer: C (メッセージを残す)

最新問題: 3

次の評価プロセスのうち、上級管理職が開発プログラムにおける回復力の構築に関する意思決定を管理できるようにするのはどれですか？

- A. リソース割り当て
- B. 新製品/サービスの評価
- C. プロセスの評価
- D. 適応

Answer: B (メッセージを残す)

説明

上級管理者が開発プログラムにおける回復力の構築に関する意思決定を管理できるようにする評価プロセスは、新しい製品/サービスの評価です。このプロセスには、組織の事業継続目標、リスク、および能力に対する新製品またはサービスの潜在的な影響の評価が含まれます。

新しい製品/サービスの評価は、上級管理者が新しい製品やサービスの立ち上げと提供を成功させるために必要な事業継続要件とリソースを特定し、優先順位を付けるのに役立ちます。新しい製品/サービスの評価は、上級幹部が事業継続の目標と期待に関連した新しい製品またはサービスのパフォーマンスと有効性を監視およびレビューするのもにも役立ちます。

参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、67 ページ

ISO 22301:2019、第 8.3 項

最新問題: 4

ビジネスリードとの要件を明確にするのはどのステップですか？

- A. コミット
- B. 明確にして確認します
- C. コンパイル
- D. チェック

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 5

プログラムとそのコンポーネントが組織の全体的な戦略に沿ったものであることを保証するものは次のうちどれですか？

- A. 依存関係

- B. メンテナンス
- C. プロセス
- D. 機能

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 6

運用フレームワークを規定する事業継続ポリシーの策定には、どの BCMS プロセスが使用されますか？

- A. パフォーマンス評価
- B. 開発と管理
- C. 管理レビュー
- D. ポリシーの策定

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 7

ビジネス影響分析によって検証される 2 つの依存関係はどれですか? (2つお選びください)

- A. 外部依存関係
- B. 動的依存関係
- C. 静的依存関係
- D. 内部依存関係

Answer: A,D (メッセージを残す)

最新問題: 8

インシデント管理構造 (IMS) の管理活動は 3 つのレベルのうちどれですか? (3つお選びください)

- A. 戦略的
- B. 継続的
- C. 戦術的
- D. 実行中
- E. 動作中

Answer: A,C,E (メッセージを残す)

最新問題: 9

事業継続プログラムはどのプロセスに含めるべきですか？

- A. インシデント管理プロセス
- B. コンプライアンス プロセス
- C. ガバナンス プロセス
- D. 問題管理プロセス

Answer: C (メッセージを残す)

説明

事業継続プログラムは、組織のガバナンス プロセスの一部である必要があります。これは、組織を指揮し、制御するシステムです。ガバナンス プロセスには、戦略的方向性の設定、ポリシーと目標の確立、リソースの割り当て、パフォーマンスの監視、組織の説明責任と透明性の確保が含まれます。ビジネス継続性プログラムは、破壊的なインシデントが発生した場合に組織の重要な機能とプロセスの継続性を確保し、組織の回復力と評判を高めることにより、ガバナンス プロセスをサポートします。参考資料: ISO 22301 監査電子ブック、第1章: 事業継続マネジメント システム (BCMS) の概要、セクション 1.1: ガバナンス、8 ページ。

最新問題: 10

プロジェクトを完了するために必要な特定のタスクの成果物または結果を指すものは次のうちどれですか？

- A. タイムスケール
- B. 成果物
- C. 関数
- D. タスク

Answer: B (メッセージを残す)

説明

成果物とは、プロジェクトを完了するために必要な特定のタスク、製品、または成果です。これらはプロジェクト活動の具体的かつ測定可能な結果であり、プロジェクトの目的および範囲と一致している必要があります。成果物は、プロジェクト成果物とプロセス成果物の2種類に分類できます。プロジェクト成果物は、レポート、計画、文書、ソフトウェア、ハードウェアなど、プロジェクトの目標の達成に直接貢献する成果物です。プロセス成果物は、スケジュール、予算など、プロジェクトの管理と実行をサポートする成果物です。、リスク評価、監査など。

成果物はプロジェクトの関係者によって明確に定義され、合意され、受け入れられる必要があります。プロジェクトのライフサイクル全体を通じて監視および制御される必要があります。ISO 22301 によると、事業継続マネジメント システム (BCMS) を実装するための成果物の一部は、事業継続ポリシー、事業継続目標、事業影響分析、リスク評価と治療、事業継続戦略、事業継続計画、事業継続手順、パフォーマンス指標、監査レポート、是正措置など。参考資料: ISO 22301 監査電子ブック、第3章: BCMS の計画、セクション 3.1: プロジェクト管理、39 ページ。ISO 22301 監査電子ブック、第3章: BCMS の計画、セクション 3.2: プロジェクト成果物、40 ページ。

最新問題: 11

ISO 22301 にはいくつかのセクションとサポートセクションが関係していますか？

- A. 12 セクションと1つのサポート セクション
- B. 13 セクションと2つのサポート セクション
- C. 13 セクションと2つのサポート セクション
- D. 12 セクションと1つのサポート セクション

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 12

次の評価プロセスのうち、上級管理職が開発プログラムにおける回復力の構築に関する意思決定を管理できるようにするのはどれですか？

- A. 適応
- B. 新製品/サービスの評価
- C. リソース割り当て
- D. プロセスの評価

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 13

組織内のさまざまな利害関係者のグループ間で情報を管理するには、どのようなコミュニケーション構造を確立する必要がありますか？

- A. 内部コミュニケーション
- B. 外部通信

Answer: B (メッセージを残す)

説明

ISO 22301 主任監査人の目的と内容によれば、組織内のさまざまな利害関係者グループ間の情報を管理するためのコミュニケーション構造には、内部コミュニケーションと外部コミュニケーションの両方が含まれる必要があります。内部コミュニケーションとは、従業員、マネージャー、事業継続チーム間など、組織内での情報やメッセージの交換を指しません。外部コミュニケーションとは、顧客、サプライヤー、規制当局、メディア、一般大衆など、組織の外部の関係者との情報やメッセージの交換を指します。どちらのタイプのコミュニケーションも、事業継続管理システム (BCMS) を効果的に運用し、中断からの適切な対応と回復を確保するために不可欠です。コミュニケーション構造は組織のコミュニケーション戦略と整合する必要があります。コミュニケーションのニーズを特定し、コミュニケーションチャネルを定義し、BCMS のコミュニケーション手順を確立する必要があります。コミュニケーション構造では、タイムリーで正確な情報、代替コミュニケーションチャネル、噂や誤った情報の管理など、混乱中に発生する可能性のある固有のコミュニケーション要件も考慮する必要があります。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、291 ページ。ISO 22301 第 7.4 条 コミュニケーション2

最新問題: 14

PDCA サイクルのどのステップが、制御目標を達成するために以前に選択した制御を実装しますか？

- A. 計画
- B. 実行します
- C. チェック
- D. 行為

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

PDCA サイクルの Do ステップでは、制御目標を達成するために、以前に選択した制御を実装します。

ISO 22301 監査 eBook によると、Do ステップには、前のステップで計画された事業継続ポリシー、制御、プロセス、手順の実装と運用が含まれます。実行ステップには、事業継続管理システム (BCMS) の効果的な運用をサポートするために必要なリソース、能力、認識、コミュニケーション、および文書の確立も含まれます。実行ステップは、組織がタイムリーかつ効果的な方法で破壊的なインシデントに対応し、回復する準備ができていないことを確認することを目的としています。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、9、10、11、22、23、および 24 ページ。

最新問題: 15

与えられた期間内に達成可能な目標はどれですか？

- A. 関連
- B. 時間ベース
- C. 測定可能
- D. 実用性

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 16

管理、運用、管理、および技術サポートを必要とする継続的かつ漸進的なサイクルとなるフレームワークはどれですか？

- A. 製品管理
- B. プロジェクト管理
- C. プログラム管理
- D. プロセス管理

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

プロセス管理は、管理、運用、管理、および技術サポートを必要とする継続的かつ進歩的なサイクルであるフレームワークです。プロセス管理とは、組織とその利害関係者に価値を提供するプロセスの設計、実装、監視、評価、改善を指します。プロセス管理には次の手順が含まれます。

プロセスを定義する: プロセスの目的、範囲、目的、インプット、アウトプット、アクティビティ、役割、および責任を特定します。

プロセスを文書化する: プロセス内の一連のタスク、意思決定、相互作用を示す、フローチャート、図、マップなどのプロセス フローの視覚的表現を作成します。

プロセスを実装する: 適切なリソース、ツール、および方法を使用して、定義され文書化された仕様に従ってプロセスを実行します。

プロセスを監視する: 主要業績評価指標 (KPI)、指標、フィードバック メカニズムを使用してプロセスのパフォーマンスを測定および分析し、プロセスが期待される結果と品質基準を満たしていることを確認します。

プロセスを評価する: 監査、レビュー、評価手法を使用してプロセスの有効性と効率をレビューおよび評価し、プロセスの強み、弱み、機会、脅威を特定します。

プロセスを改善する: 評価の結果に基づいて是正措置および予防措置を実施し、プロセスを強化し、不適合、エラー、または非効率の原因を排除または軽減します。

プロセス管理は継続的かつ進歩的なサイクルであり、組織とその利害関係者のニーズや期待の変化に基づいてプロセスが常に変更および改善されるため、管理、運用、管理および技術的なサポートが必要です。プロセス管理は、組織が重要なビジネス プロセスとリソースを特定、保護、最適化し、中断が発生した場合の継続性と回復力を確保するのに役立つため、ビジネス継続性管理システム (BCMS) の導入と保守もサポートします。。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続マネジメント システム、セクション 3.4: 計画、18 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続マネジメント システム、セクション 3.6: パフォーマンス評価、21 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続マネジメント システム、セクション 3.7: 改善、23 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 4 章: 事業継続マネジメント システム監査、セクション 4.1: 監査原則、26 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 4 章: 事業継続マネジメント システム監査、セクション 4.3: 監査プロセス、28 ページ

有効な **ISO-22301-Lead-Auditor** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **ISO-22301-Lead-Auditor** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/PECB/ISO-22301-Lead-Auditor-mondaishu.html> (**10230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

ガイドライン、手順、物理的制御システムが含まれるのは次のうちどれですか？

- A. 企業防御
- B. 企業構造
- C. 企業プロセス
- D. 法人所得

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 18

プロジェクトを完了するために必要な特定のタスクの成果物または結果を指すものは次のうちどれですか？

- A. 成果物
- B. 関数
- C. タイムスケール
- D. タスク

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 19

PDCA サイクルのどのステップで管理プロセスの課題を特定し、評価しますか？

- A. 計画
- B. 実行します
- C. チェック
- D. 行為

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

最新問題: 20

BCMS のあらゆる側面にスタッフと外部の関係者を関与させるのは次のうちどれですか？

- A. コミュニケーション
- B. 分析
- C. 調整
- D. 管理

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

コミュニケーションは、BCMS のあらゆる側面でスタッフと外部の関係者を関与させるプロセスです。

コミュニケーションにより、BCMS の目的、ポリシー、手順、役割、責任が関係者に理解され、受け入れられるようになります。また、コミュニケーションは、BCMS とその利害関係者（顧客、サプライヤー、規制当局、メディアなど）との間の情報やフィードバックの交換を促進します。コミュニケーションは、BCMS に対する信頼、認識、コミットメントを構築するだけでなく、BCMS のパフォーマンスやパフォーマンスを向上させるのにも役立ちます。効果。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、30 ページ。ISO 22301:2019、第 7.4 項

最新問題: 21

他の形式の情報収集方法をサポートするための二次的な方法として、どのタイプのレビューがよく使用されますか？

- A. プライベートレビュー
- B. ドキュメンタリー レビュー

- C. 先見の明のあるレビュー
- D. 個人的なレビュー

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 22

サードパーティが提供する専門家サービスに関連する役割はどれですか？

- A. 人
- B. 利害関係者
- C. 評判
- D. サプライヤー

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 23

BCM プログラムの活動が適合性を通じて適切に管理されていることを検証する監査は次のうちどれですか？

- A. メンテナンス
- B. 依存関係
- C. 品質
- D. セキュリティ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

品質監査では、BCM プログラムの活動が BCMS の要件、ポリシー、手順に準拠して適切に管理されていることを検証します。また、BCMS プロセスの有効性と効率、および BCMS パフォーマンスの継続的な改善も評価します。品質監査は、監査のソースに応じて、内部または外部で行われます。参考文献: ISO 22301 監査電子書籍、19 ページ 1; ISO 22301:2019、第 9.2 条 2

最新問題: 24

BCMS の範囲を決定する際、何が真実ですか？

- A. 範囲は組織の内部ニーズにのみ関係します。
- B. 範囲は常に組織全体をカバーする必要があります
- C. スコープでは、除外事項を文書化して説明する必要があります。
- D. スコープは決して変更しないでください。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

事業継続管理システム (BCMS) の範囲は、BCMS の境界と適用可能性を定義するステートメントです。どの製品、サービス、プロセス、場所、組織単位が BCMS の対象となるか、また除外事項や制限事項が指定されています。範囲では、BCMS の範囲内に含まれない製品、サービス、プロセスなどの除外事項を文書化して説明する必要があります。除外は、次のようなさまざまな理由で正当化される場合があります。

製品、サービス、プロセスは、組織の運営や目的にとって重要ではありません。

製品、サービス、またはプロセスは、他の管理システムまたは計画によってすでにカバーされています。

製品、サービス、またはプロセスは、組織の管理または影響の範囲外にあります。

製品、サービス、またはプロセスは、組織の状況やニーズに関連していないか、または適用できません。

ただし、除外は、利害関係者の要件や期待を満たす製品やサービスを提供する組織の能力に影響を与えるべきではありません。また、除外によって、BCMS と事業継続管理システムの国際標準である ISO 22301 の要件との適合性が損なわれてはなりません。範囲と除外事項は明確かつ簡潔な方法で文書化し、すべての関係者に伝達する必要があります。また、組織の状況の変化やニーズを反映するために、範囲と除外事項を定期的に見直し、更新する必要があります。参考文献:

ISO 22301:2019 - セキュリティと復元力 - 事業継続マネジメント システム - 要件、条項 4.3: 事業継続マネジメント システムの範囲の決定1 ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続の統合、セクション 3.1: 事業継続の統合レベル2 ISO 22301 条項4.3 事業継続マネジメントシステムの範囲の決定3

最新問題: 25

事業継続管理 (BMS) への普遍的なアプローチを開発するために、すべての既存の標準と一連の優れたプラクティスをまとめたシステム/標準はどれですか?

- A. ISO 22400
- B. ISO 27001
- C. ISO 9008
- D. ISO 22301

Answer: D (メッセージを残す)

説明

ISO 22301 は、事業継続管理 (BCM) への普遍的なアプローチを開発するために、既存のすべての標準と優れた実践例をまとめたシステム/標準です。ISO 22301 は、セキュリティと回復力 - 事業継続管理システム - 要件に関する国際規格です。これは、破壊的なインシデントが発生した場合に、それを防止し、発生の可能性を軽減し、準備し、対応し、回復するために、文書化された管理システムを計画、確立、実装、運用、監視、レビュー、維持し、継続的に改善するための要件を指定します。ISO 22301 は、すべてのマネジメント システム規格に共通のフレームワークを提供する上位構造 (HLS) に基づいています。これは、ISO 9001 (品質管理)、ISO 14001 (環境管理)、ISO 27001 (情報セキュリティ管理) などの他の規格との一貫性と整合性を確保するのに役立ちます。ISO 22301 には、他のソースからのベストプラクティスとガイダンスも組み込まれています。ISO 22313 (事業継続マネジメントシステムのガイドライン)、ISO 22317 (事業影響分析のガイドライン)、ISO 22318 (サプライチェーンの継続性のガイドライン)、ISO 22320 (インシデント管理のガイドライン)、ISO 22398 (演習とテストのガイドライン) などISO 22301 は、組織の性質、部門、場所に関係な

く、あらゆる種類と規模の組織に適用できる、BCM への普遍的なアプローチを提供することを目的としています。参考文献:

ISO 22301:2019 - セキュリティと復元力 - 事業継続マネジメント システム - 要件 1 ISO 22301 監査電子ブック、第 1 章: 事業継続マネジメント システムの概要、セクション 1.2: ISO 22301 規格 2 ISO 22301 - 事業継続 2

最新問題: 26

改善には 2 つの要素が含まれます: (2 つ選択してください)

- A. 不適合と是正措置
- B. 継続的な改善
- C. サービス設計
- D. 戦略と改善計画

Answer: A,B ([メッセージを残す](#))

説明

ISO 22301:2019 の第 10 項によると、改善は不適合と是正措置、および継続的改善の 2 つの要素で構成されます。不適合と是正措置は、規格の要件または組織独自のポリシーと手順からの逸脱を特定し、対処するプロセスです。これには、不適合の原因を除去し、再発を防止し、その影響を軽減するための措置を講じることが含まれます。継続的改善は、BCMS とそのパフォーマンスの適合性、適切性、有効性を強化するプロセスです。これには、モニタリング、測定、分析、評価、内部監査、マネジメントレビューの結果に基づいて改善の機会を特定し、実行することが含まれます。参考文献: : ISO 22301 監査電子ブック、11 ページ: ISO 22301:2019、条項

10 : ISO 22301: 第 10 条 - 改善 - ISO テンプレートとドキュメントのダウンロード : ISO 22301 の継続的改善 - 達成方法 - Advisera

最新問題: 27

事業継続管理 (BMS) への普遍的なアプローチを開発するために、すべての既存の標準と一連の優れたプラクティスをまとめたシステム/標準はどれですか?

- A. ISO 22301
- B. ISO 9008
- C. ISO 22400
- D. ISO 27001

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 28

組織の管理階層の概要を説明しているものは次のうちどれですか?

- A. 法人向けサービス
- B. 企業構造
- C. 企業改善
- D. 企業防御

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 29

適切なガイダンスに裏付けられた情報に基づいた判断に基づく単純なプロセスを持つアプローチのタイプはどれですか？

- A. 定性的アプローチ
- B. 定量的アプローチ

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 30

次の文書のうち、経営陣が所有しており、組織における BCM の目的を定めているものはどれですか？

- A. ワークシート
- B. ビジネス プロセス ポリシー
- C. 事業継続ポリシー
- D. 登録

Answer: C (メッセージを残す)

最新問題: 31

プロセス中心のアプローチには何種類の戦略が関係していますか？

- A. 4
- B. 5
- C. 6
- D. 7

Answer: B (メッセージを残す)

説明

ISO 22301 Auditing eBook によると、事業継続管理へのプロセス中心のアプローチには 5 種類の戦略が含まれています。彼らです：

ビジネス継続戦略: これは、中断が発生した場合に組織の重要な機能の継続性を確保するためのフレームワークを提供する全体的なアプローチです。これは、事業継続管理システム (BCMS) の目的、範囲、原則、およびポリシーを定義します。

回復戦略: これは、組織が中断後に事前定義された時間枠内で重要な機能を回復する方法を定義する具体的なアプローチです。重要な機能を回復し、通常のコピーを再開するために必要なリソース、アクション、手順を特定します。

継続性戦略: これは、混乱時に組織がその重要な機能をどのように維持するかを定義する具体的なアプローチです。これは、組織が許容可能なレベルのパフォーマンスで製品またはサービスを提供し続けることを可能にする代替の取り決め、方法、運用モードを特定します。

軽減戦略: これは、組織が中断の可能性や影響をどのように軽減するかを定義する具体的なアプローチです。潜在的な脅威やリスクに対する組織の露出や脆弱性を最小限に抑える予防および保護手段を特定します。

対応戦略: これは、組織が混乱にどのように対応するかを定義する具体的なアプローチです。インシデント管理チームの役割、責任、権限、通信チャネルとプロトコル、エスカレーションと通知手順を特定します。

参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、40 ~ 42 ページ

有効な **ISO-22301-Lead-Auditor** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **ISO-22301-Lead-Auditor** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/PECB/ISO-22301-Lead-Auditor-mondaishu.html> (10230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

BCM プログラムの活動が適合性を通じて適切に管理されていることを検証する監査は次のうちどれですか？

- A. 品質
- B. メンテナンス
- C. 依存関係
- D. セキュリティ

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 33

事業継続プログラムはどのプロセスに含めるべきですか？

- A. インシデント管理プロセス
- B. コンプライアンス プロセス
- C. 問題管理プロセス
- D. ガバナンス プロセス

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 34

データ収集の主な手法として口頭での質問を使用するインタビューのタイプはどれですか？

- A. 個人面接
- B. プライベートインタビュー

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 35

ビジネス継続性を統合できる組織活動の2つのレベルはどれですか？

- A. 管理
- B. 構造
- C. プロセス
- D. 操作

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 36

組織に対する潜在的な脅威と事業運営への影響を特定するアプローチは次のうちどれですか？

- A. ビジネス プロセス管理
- B. 事業継続管理
- C. シックス シグマ アプローチ
- D. ISMS セキュリティ プロセス

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 37

組織活動の脆弱性と、特定のタイプまたはリスクへの曝露を明らかにするレビューはどれですか？

- A. リスク評価
- B. 連続性評価
- C. 危機評価
- D. 重要な評価

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 38

BCMS のあらゆる側面にスタッフと外部の関係者を関与させるのは次のうちどれですか？

- A. 分析
- B. 管理
- C. 調整
- D. 通信

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

最新問題: 39

PDCA サイクルのどのステップで管理プロセスの課題を特定し、評価しますか？

- A. 計画
- B. 実行します

C. チェック

D. 行為

Answer: C (メッセージを残す)

説明

PDCAサイクルにおけるCheckステップは、その結果を分析する段階です。これには、Do ステップで実行されたアクションの監視と評価が含まれます。これは、計画の有効性を判断し、繰り返される間違いを回避するために使用されます。「チェック」ステップでは、ギャップ、不適合、リスク、機会など、管理プロセスの問題を特定し、評価します。チェックステップには、BCMSのパフォーマンスと有効性に関するデータと情報の収集と分析も含まれます。これは、監査、レビュー、テスト、演習、調査、フィードバックなどのさまざまな方法を通じて行うことができます。チェックステップは、問題に対処してBCMSを改善するための是正措置と予防措置が取られる行為ステップに貴重な情報を提供します。参考文献: ISO 22301 監査 eBook、11 ページ: ISO 22301:2019、9.1 節: Plan-Do-Check-Act (PDCA) サイクル: 継続的改善へのガイド: Plan-Do-Check-Act サイクル - BCMpedia

最新問題: 40

適切なガイダンスに裏付けられた情報に基づいた判断に基づく単純なプロセスを持つアプローチのタイプはどれですか?

A. 定量的アプローチ

B. 定性的アプローチ

Answer: B (メッセージを残す)

説明

ISO 22301 主任監査人の目的と内容によれば、定性的アプローチは、適切なガイダンスに裏付けられた情報に基づいた判断に基づく単純なプロセスを持つアプローチの一種です。組織のプロセス、リソース、目標に対する混乱の影響とリスクを評価するには、定性的なアプローチが使用されます。定性的アプローチは、混乱の可能性と深刻度、および既存の制御と緩和策の有効性の主観的な評価に依存します。定性的アプローチでは、低、中、高などの記述的なスケールを使用して、影響とリスクをランク付けできます。定性的アプローチでは、結果の分析と伝達を容易にするために、マトリックス、図表、チェックリストなどのツールを使用することもできます。定性的アプローチは、より複雑で客観的な計算と測定が必要な定量的アプローチを実施するためのデータ、リソース、または時間が限られている組織に適しています。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、401 ページ。ISO 22301 条項 8.2.2 リスク評価2

最新問題: 41

事業継続のためのリスク管理の目的は、組織がどのような問題に直面する可能性があるかを明らかにすることです。

組織のリスクのレベルはどのように決定されるべきでしょうか?

A. イベントの結果と可能性の組み合わせ

B. イベントの重要性と受け入れの組み合わせ

C. 許容可能なイベントと許容可能なイベントの組み合わせ

D. 収益性とイベント分析の組み合わせ

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

ISO 22301:2019 の第 6.1.2 項によると、組織は重要な機能の継続性と事業継続目標の達成に関連するリスクを管理するための文書化されたプロセスを確立、実装、維持する必要があります。リスク管理プロセスには、組織の業務、製品、サービスに混乱を引き起こす可能性のあるリスクの特定、分析、評価が含まれる必要があります。組織のリスクのレベルは、混乱を引き起こす可能性のあるイベントの結果と可能性、さらに組織のリスク基準、リスク選好度、リスク許容度を組み合わせる必要があります。

イベントの結果は、それが組織の目的、評判、利害関係者、およびリソースに与える可能性のある影響または影響です。イベントの可能性とは、履歴データ、統計分析、専門家の判断、またはその他の方法に基づいて、そのイベントが発生する確率または頻度です。組織は、リスクマトリックス、リスクレジスタ、リスクマップ、リスクソフトウェアなど、リスクのレベルを評価するための適切なツールと手法を使用する必要があります。組織はまた、リスク評価の結果を文書化し、関連する利害関係者に伝達する必要があります。事業継続のためのリスク管理の目的は、組織が直面する可能性のある問題を特定し、リスクを予防、軽減、移転するための適切な措置を講じるか、リスクが組織のリスク基準内にある場合は受け入れることです。参考文献: ISO 22301:2019、第 6.1.2 項。ISO 22301 監査電子ブック、第 4.2.2 章。

最新問題: 42

組織活動を評価する客観的なアプローチは次のうちどれですか?

A. ビジネスセキュリティ分析

B. ビジネスへの影響分析

C. 事業継続性分析

D. ビジネス戦略分析

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

ビジネス影響分析 (BIA) は、組織の活動を評価し、その重要性、依存関係、回復の優先順位を決定する客観的なアプローチです。BIA は、ISO 22301 に準拠した事業継続管理システム (BCMS) を開発する際の重要なプロセスです。BIA は、財務的損失、風評被害、法的責任、規制上の罰則など、組織の重要な機能とプロセスへの混乱による潜在的な影響を特定するのに役立ちます。BIA は、各重要な機能とプロセスの目標復旧時間 (RTO)、目標復旧時点 (RPO)、および最小事業継続目標 (MBCO) を決定するのにも役立ちます。BIA は、組織の継続性と回復力を確保する事業継続戦略と計画を策定するための基礎を提供します。

参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、第 2 章: 事業継続性の概念と原則、セクション 2.3: ビジネスへの影響分析1

ISO/TS 22317:2021(en)、セキュリティと復元力 - 事業継続管理システム - ビジネス影響分析のガイドライン2

最新問題: 43

_____ は、組織に対する相互関連するリスク プロファイルとして、リスクの全範囲とその複合的な影響を管理します。

- A. 企業計画管理 (EPM)
- B. エンタープライズ継続的管理 (ECM)
- C. エンタープライズ戦略管理 (ESM)
- D. エンタープライズ リスク管理 (ERM)

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

説明

エンタープライズ リスク管理 (ERM) は、組織に対する相互関連するリスク プロファイルとして、リスクの全範囲とその複合的な影響を管理するアプローチです。ERM を使用すると、組織はあらゆるプロセス、活動、利害関係者、製品、サービスに対するあらゆる種類のリスクの潜在的な影響を考慮できます¹。ERM は、組織が直面する不確実性を評価および管理するという目的に合わせて、戦略、プロセス、テクノロジー、知識を調整するのに役立ちます²。ERM は、戦略的、運営的、財務的、コンプライアンスのリスクだけでなく、機会もカバーする総合的かつ統合的なアプローチです³。参考文献:

ISO 31000:2018、第 3.1 項

ISO 22301 監査電子ブック、11 ページ

エンタープライズ リスク管理 - 戦略とパフォーマンスの統合 (4 ページ)

最新問題: 44

PDCA サイクルのどのステップが、制御目標を達成するために以前に選択した制御を実装しますか?

- A. 実行します
- B. チェック
- C. 計画
- D. 行為

Answer: [A \(メッセージを残す\)](#)

最新問題: 45

組織内のさまざまな利害関係者のグループ間で情報を管理するには、どのようなコミュニケーション構造を確立する必要がありますか?

- A. 内部コミュニケーション
- B. 外部通信

Answer: [A \(メッセージを残す\)](#)

最新問題: 46

デミング・サイクルの4つの段階とは何ですか:

- A. 計画、実行、確認、行動
- B. 計画、実行、確認、行動
- C. 計画、実行、確認、行動
- D. 計画、実行、チェック、アクション

Answer: B (メッセージを残す)

説明

デミングサイクルの4つのフェーズは、計画、実行、確認、および実行です。デミングサイクルはPDCAサイクルとも呼ばれ、プロセス、製品、またはサービスを継続的に改善するための4段階のモデルです。このサイクルは、品質管理の先駆者であるW.エドワーズデミング博士によって開発され、科学的な問題解決方法に基づいています。デミングサイクルの4つの段階は次のとおりです1:

計画: 問題または機会を特定し、根本原因を分析し、改善の目的と手段を確立します。

実行: 計画されたソリューションを実装し、結果をテストし、評価用のデータを収集します。

チェック: 実際の結果と期待される結果を比較し、ギャップや逸脱を特定し、ソリューションの有効性と効率を分析します。

行動: 是正措置または予防措置を講じてギャップを埋め、再発を防止し、ソリューションを標準化し、学んだ教訓を伝えて文書化します。デミングサイクルは、あらゆる種類のプロセス、製品、サービスに適用できる動的で反復的なプロセスです。このサイクルは、改善が事実とデータに基づいていることを確認し、さらなる改善のために改善が監視および評価されるようにするのに役立ちます。デミングサイクルは、事業継続マネジメントシステム(BCMS)の国際規格であるISO 22301の構造と内容とも一致しています。ISO 22301は、Plan-Do-Check-Actアプローチに従って、組織が破壊的なインシデントに備え、対応し、回復できるようにするBCMSを確立、実装、維持、改善します2。参考文献:

ISO 9001 要件におけるPDCA (Plan-Do-Check-Act) サイクル - Advisera

ISO 22301:2019 - NQA、9 ページ

有効な **ISO-22301-Lead-Auditor** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **ISO-22301-Lead-Auditor** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/PECB/ISO-22301-Lead-Auditor-mondaishu.html> (**10230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

BCMSの運用枠組みはPDCAサイクルのどの段階で確立されるのでしょうか？

- A. 実行します
- B. 計画
- C. 行為
- D. チェック

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 48

ビジネス継続性を統合できる組織活動の2つのレベルはどれですか？

- A. 管理
- B. 構造
- C. 操作
- D. プロセス

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

説明

ビジネス継続性は、組織の活動の2つのレベル(管理とプロセス)に統合できます。ISO 22301 監査 eBookによると、事業継続性の統合は、事業継続性の原則と実践を組織の文化、価値観、業務に組み込むプロセスです。事業継続性の統合は、事業継続性が別個の機能やプロジェクトとして見なされないようにすることを目的としています。」1 管理レベルでの事業継続性の統合には、次の側面が含まれます 1:

リーダーシップとコミットメント: 組織のトップマネジメントは、事業継続方針、目的、役割を確立し、BCMSに必要なリソースとサポートを提供することにより、事業継続マネジメントシステム(BCMS)に対するリーダーシップとコミットメントを示す必要があります。

計画と戦略: 組織は、ビジネスへの影響分析とリスク評価の結果、および利害関係者のニーズと期待に基づいて、事業継続戦略と目標を計画し、開発する必要があります。組織は、BCMSに関連するリスクと機会、およびBCMSに影響を与える可能性のある変更に対処するための行動も計画する必要があります。

監視と評価: 組織は、BCMSのパフォーマンスと有効性、および関係者の要件と期待への準拠を監視および測定する必要があります。組織はまた、BCMSを評価および改善するために、内部および外部の監査、管理レビュー、および是正措置を実施する必要があります。

継続的改善: 組織は、強化と革新の機会を特定して実装することにより、BCMSの適合性、適切性、および有効性を継続的に改善する必要があります。

プロセス レベルでのビジネス継続性の統合には、次の側面が含まれます1:

プロセスの特定と分析: 組織は、プロセスとその相互作用、およびその重要性、依存関係、回復の優先順位を特定して分析する必要があります。組織は、各プロセスの最小事業継続目標(MBCO)、目標復旧時間(RTO)、および目標復旧時点(RPO)も決定する必要があります。

プロセスの設計と実装: 組織は、事業継続戦略と目標、および関係者の要件と期待に従って、プロセスを設計して実装する必要があります。また、組織は、破壊的なインシデントへ

の対応と回復のための行動と責任を明記した事業継続計画と手順を確立し、維持する必要があります。

プロセスの制御と運用: 組織は、一貫した効果的な方法でプロセスを制御および運用するとともに、プロセスをサポートするリソースと資産の可用性と信頼性を確保する必要があります。また、組織は演習とテストを実施して、プロセスの機能と操作性、事業継続計画と手順を検証および検証する必要があります。

プロセスの改善と最適化: 組織は、PDCA サイクルとプロセス アプローチの原則を適用して、プロセスを改善し、最適化する必要があります。組織はまた、変化する状況やニーズに対処するために、プロセスの回復力と適応性を強化するよう努めるべきです。

参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続性の統合、セクション 3.1: 事業継続性の統合レベル 1 ISO 22301:2019 - セキュリティと復元力 - 事業継続性管理システム - 要件 2

最新問題: 49

事業継続マネジメントの次の取り組みのうち、組織とその活動を制御する規制システムはどれですか?

- A. リーダーシップ
- B. 適切なビジネス慣行
- C. ガバナンス
- D. ロングランスフォーカス

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

ガバナンスは、組織とその活動を制御する規制システムである事業継続管理の取り組みです。ガバナンスとは、組織がどのように指示され管理されるかを定義する一連のポリシー、プロセス、役割、および責任を指します。ガバナンスは、組織の目的、戦略、運営が、顧客、従業員、規制当局、株主などの利害関係者の期待やニーズと一致していることを保証します。ガバナンスは、組織のパフォーマンス、リスク、コンプライアンス、継続性に対する監視と説明責任も提供します。

事業継続管理 (BCM) は、組織が重要な資産と機能を保護し、破壊的なインシデントに対応して回復できるようにするため、ガバナンスの重要なコンポーネントです。BCM は、不確実性や危機に直面したときに組織がその評判、回復力、価値を維持するのに役立ちます。BCM はまた、関連する法律、規制、標準、および事業継続管理システムの国際標準である ISO 22301 などのベスト プラクティスへの組織のコンプライアンスもサポートします。

したがって、ガバナンスは、組織の継続性と回復力に対する方向性、監視、説明責任を提供することによって、組織とその活動を制御する規制システムである事業継続性管理のイニシアチブです。参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、第 1 章: 事業継続管理の概要、セクション 1.1: 事業継続管理とは何ですか?、4 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 2 章: ISO 22301 の概要、セクション 2.1: ISO 22301 とは?、9 ページ ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続マネジメント システム、セクション 3.1: 組織の状況、13 ページ ISO 22301 監査 eBook、第 3 章: 事業継続管理システム、セクション 3.2: リーダーシップ、16 ページ

最新問題: 50

事業継続のためのリスク管理の目的は、組織がどのような問題に直面する可能性があるかを明らかにすることです。

組織のリスクのレベルはどのように決定されるべきでしょうか?

- A. 許容可能なイベントと許容可能なイベントの組み合わせ
- B. イベントの結果と可能性の組み合わせ
- C. 収益性とイベント分析の組み合わせ
- D. イベントの重要性と受け入れの組み合わせ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 51

人材およびパフォーマンス指向の目標の達成をサポートする BCM 活動に焦点を当てている目標はどれですか?

- A. プロセス指向
- B. パフォーマンス重視
- C. 人間指向

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

プロセス指向の目標は、ISO 22301 で定義されているように、人材およびパフォーマンス指向の目標の達成をサポートする BCM 活動に焦点を当てた目標です。プロセス指向の目標は、事業継続ポリシーとビジネスへの影響の結果から導き出されず、分析 (BIA) とリスク評価 (RA)。プロセス指向の目標は測定可能で一貫性があり、組織の事業継続要件と戦略に関連しています。プロセス指向の目標も組織の戦略的方向性と一致しており、すべての関係者に伝達されます。プロセス指向の目標は、事業継続マネジメント システム (BCMS) の計画、実装、監視、レビュー、改善の基礎を提供するため、ISO 22301 の主要な要件の 1 つです。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、281 ページ。ISO 22301:2019、第 6.2 項 2

最新問題: 52

製品やサービスの提供に直接責任を負うのはどの部門ですか?

- A. 通常の間数
- B. サポート間数
- C. 手続き型間数
- D. 重要な機能

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

ISO 22301:2019 の第 3.10 項によると、重要機能とは、顧客およびその他の利害関係者への製品およびサービスの提供に直接責任を負う機能です。組織がその目的を達成し、評判を守り、法的および契約上の義務を果たすためには、重要な機能が不可欠です。重要な機能は中断に対して最も脆弱な機能でもあるため、最高レベルの保護および回復機能が必要です。重要な機能の特定と優先順位付けは、事業継続管理システム (BCMS) の重要なコンポーネントであるビジネス影響分析 (BIA) プロセスの一部です。参考文献: ISO 22301:2019、第 3.10 項。ISO 22301 監査電子ブック、章 4.2.2.

最新問題: 53

PDCA サイクルのどのステップで主要なステークホルダーとのコミュニケーションが維持されますか？

- A. 計画
- B. 実行します
- C. チェック
- D. 行為

Answer: D (メッセージを残す)

説明

PDCA サイクルにおける Do ステップは、計画を実行し実行する段階です。これには、BCMS で定義されたアクティビティとプロセスの実行が含まれます。これは、主要な関係者とのコミュニケーションが維持されるステップでもあります。コミュニケーションは、すべての関係者に情報を提供し、事業継続プロセスに関与させるため、BCMS の重要な要素です。ISO 22301 では、組織が混乱時にタイムリーかつ効果的なコミュニケーションを可能にするコミュニケーション手順を確立することを求めています。これらの手順には、明確なコミュニケーションチャネル、エスカレーションプロセス、および顧客、サプライヤー、規制機関などの利害関係者とのコミュニケーションに関するガイドラインが含まれている必要があります¹。

コミュニケーションとトレーニングも、すべての利害関係者が PDCA サイクルに参加し、PDCA サイクルとその役割を認識できるようにするため、Do ステップの重要な側面です。従業員がプロセスとそのプロセスにどのように貢献できるかを理解できるように、トレーニングとサポートを提供します²。実行ステップには、BCMS の有効性を検証し、改善の余地がある領域を特定するために、BCMS をテストおよび実行することも含まれます。テストと演習は、BCMS の前提、計画、手順を検証し、それらが目的に適合していることを確認するために不可欠です。また、スタッフや関係者の意識と信頼を高め、事業継続に対する組織の取り組みを示すのにも役立ちます³。参考資料: : ISO 22301 第 7.4 項 コミュニケーション: 計画 実行 評価 実行 (PDCA) サイクル: 継続的改善へのガイド: ISO 22301 事業継続管理を簡単に

最新問題: 54

戦略チームが設定したポリシー ガイドライン内でインシデントの影響をどのように管理するかを決定する責任を負うのはどのチームですか？

- A. 動作中
- B. 検証済み
- C. 戦略的
- D. 戦術的

Answer: D (メッセージを残す)

説明

戦略チームが設定したポリシー ガイドライン内でインシデントの影響をどのように管理するかを決定する責任を負うチームが戦術チームです。戦術チームは、事業継続計画と戦略を実行するための意思決定とリソースの割り当てを行う権限と能力を持つマネージャーまたは専門家で構成されます。戦術チームは、復旧および復旧活動の実行を担当する運用チームと調整および通信し、インシデント対応の全体的な方向性と目標の設定を担当する戦略チームに報告します¹。

参考資料: 1: ISO 22301 監査電子ブック、第 7 章: 事業継続性への対応、セクション 7.2: インシデント管理構造、サブセクション 7.2.1: インシデント管理チーム、103 ページ

最新問題: 55

組織の提供システムの一部であるプロセスのすべてのアウトソーシング機能は、スコープ分析に含める必要があります。

- A. True
- B. 偽

Answer: A (メッセージを残す)

説明

組織の提供システムの一部であるすべてのアウトソーシング機能またはプロセスは、中断が発生した場合に組織の製品またはサービスを提供する能力に重大な影響を与える可能性があるため、スコーピング分析に含める必要があります。組織はまた、内部および外部の機能またはプロセス間の依存関係および相互依存性、およびそれらの失敗または中断による潜在的な影響も考慮する必要があります。組織は、範囲分析の結果に基づいて事業継続管理システム (BCMS) の範囲を定義し、BCMS ポリシーに文書化する必要があります。参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、29 ページ。ISO 22301:2019 規格、第 4.3 項

最新問題: 56

データ収集の主な手法として口頭での質問を使用するインタビューのタイプはどれですか？

- A. プライベートインタビュー
- B. 個人面接

Answer: (解答を表示する)

説明

個人面接は、データ収集の主な手法として口頭での質問を採用する面接の一種です。これはインタビュアーとインタビュー어의対面での会話であり、インタビュアーはインタビュー어から情報を得るために自由形式または非公開形式の質問をします。個人面接は、面接対象者の職場、自宅、中立的な場所など、さまざまな環境で実施できます。個人面接は、質問の柔軟性と標準化のレベルに応じて、構造化、半構造化、非構造化のいずれかになります。個人面接は、面接対象者の能力、モチベーション、態度、特定のトピックに関する意見を評価するなど、さまざまな目的に使用できます。個人面接は、面接者と面接を受ける人の間に信頼関係、信頼関係、信頼性を確立するためにも使用できます。個人面接には、次のようなさまざまなメリットとデメリットがあります。

利点:

これにより、インタビュアーはインタビュー어의ボディランゲージ、顔の表情、声のトーンを観察できるようになり、インタビュー어의感情、感情、反応についてさらに洞察を得ることができます。

これにより、インタビュアーはインタビュー어의回答をより深く調査し、あいまいさを明確にし、さらに詳細で包括的な情報を得るためにフォローアップの質問をすることができます。

これにより、面接官は、面接を受ける人の知識、興味、反応のレベルに応じて、質問や面接のペースを調整する機会が得られます。

面接官は面接対象者と個人的なつながりを築き、前向きな雰囲気を作るため、面接対象者の参加、協力、情報開示の意欲を高めることができます。

面接官は面接対象者の回答をすぐに検証して確認できるため、情報の誤解、誤解、歪曲の可能性を減らすことができます。

短所:

面接官が面接対象者の所在地に赴き、面接のスケジュールを立て、面接を実施する必要があるため、時間、費用、労力がかかる場合があります。

面接官の期待、好み、固定観念、偏見などのさまざまなバイアスの影響を受ける可能性があり、面接官の質問の選択、回答の解釈、面接対象者の評価に影響を与える可能性があります。

面接官のスキル、性格、外見、雰囲気などのさまざまな要因の影響を受ける可能性があり、面接官のパフォーマンス、行動、面接対象者とのやり取りに影響を与える可能性があります。

面接官の記憶、想起、転記ミスなど、さまざまなエラーが発生する可能性があり、情報の損失、脱落、変更が生じる可能性があります。

これは、インタビュアーがコントロール、中立性、客観性を維持することが困難であることや、インタビュー어가消極的であること、抵抗していること、不誠実であることなど、さまざまな課題を引き起こす可能性があり、情報の質と有効性を妨げる可能性があります。

参考文献:

PECB 認定 ISO 22301 主任審査員 e ラーニング トレーニング コース 1、モジュール 5:
ISO の実施

22301 監査、レッスン 5.2: 監査中のコミュニケーション、スライド 8: 面接の種類 ISO

22301 監査 eBook2、第 5 章: ISO 22301 監査の実施、セクション 5.2: 監査中のコミュニケーション、サブセクション 5.2.1: 面接の種類

最新問題: 57

管理、運用、管理、および技術サポートを必要とする継続的かつ漸進的なサイクルとなるフレームワークはどれですか？

- A. プロジェクト管理
- B. プロセス管理
- C. 製品管理
- D. プログラム管理

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 58

重要な機能をサポートする機能はどれですか？

- A. サポート関数
- B. 手続き型関数

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

サポート機能とは、人事、財務、IT、施設管理など、組織の重要な機能をサポートする機能です。サポート機能は重要な機能を継続するために不可欠ですが、顧客への製品やサービスの提供には直接関与しません。

サポート機能も事業継続管理システム (BCMS) の範囲の一部であり、組織によって特定、分析、保護される必要があります。サポート機能は、組織がビジネス継続性の要件と戦略を決定するのに役立つため、ISO 22301 の重要な概念の 1 つです。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、23 1 ページ。ISO 22301:2019、第 8.2.2 項 2

最新問題: 59

サポートは、BCMS の計画と管理の基礎を築きます。

- A. 偽
- B. True

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 60

それぞれの重要な製品とサービスの復旧ニーズをサポートする戦略はどれですか？

- A. プロセス継続性応答
- B. 回復リソースの統合
- C. 戦略オプションの評価と選択

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 61

重要な業務を許容可能なレベルで継続するために、どのリソースが事業継続性に関与していますか？

(4つお選びください)

- A. 施設
- B. 情報
- C. テクノロジー
- D. 消耗品
- E. データ
- F. 知識

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

重要な業務を許容可能なレベルで継続するための事業継続に関与するリソースは、施設、情報、テクノロジー、および消耗品です。ISO で定義されている 4 種類のリソースです。

22301、事業継続管理システム (BCMS) の国際規格。ISOによると

22301、リソースとは、目的を達成するために使用できるあらゆるものです¹。この規格では、次の種類のリソースとその定義が規定されています²。

施設: 組織が資産を運用または保管する物理的な場所。

情報: 組織が機能するか、その製品やサービスを提供するために必要なデータと知識。

テクノロジー: 情報の処理、保存、送信、受信、または製品やサービスの提供のサポートに使用される機器、ソフトウェア、およびシステム。

供給品: 組織がその製品やサービスを運営または生産するために必要な材料、商品、またはサービス。

これらのリソースは、組織が重要な活動を実行できるようにするため、事業継続にとって不可欠です。これらの活動は、最低限許容されるサービス レベルと利害関係者のニーズを満たす主要な製品とサービスを提供するために実行する必要があります³。したがって、組織は BCMS の一環として、中断が発生した場合にこれらのリソースを特定し、優先順位を付け、保護し、復元する必要があります。

他のオプションは、ISO 22301 に従って、重要な業務を許容可能なレベルで継続するためのビジネス継続性に関与するリソースの種類ではないため、不正解です。データは情報のサブセットであり、別個の種類のリソースではありません。知識も情報の一部であり、別個の種類のリソースではありません。

参考資料: 1: ISO 22301:2019、セキュリティと復元力 - 事業継続マネジメント システム - 要件、3.33 2: ISO 22301:2019、セキュリティと復元力 - 事業継続マネジメント システム - 要件、3.34-3.37 3: ISO 22301:2019、セキュリティと復元力 - 事業継続管理システム - 要件、3.7 : ISO 22301 監査電子ブック、第 2.2.2 章: ISO 22301 監査電子ブック、第 2.2.3 章: ISO 22301 監査電子ブック、第 2.2.4 章

有効な ISO-22301-Lead-Auditor 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題集！ GoShiken.com が最新の ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/PECB/ISO-22301-Lead-Auditor-mondaishu.html> (10230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 62

それぞれの重要な製品とサービスの復旧ニーズをサポートする戦略はどれですか？

- A. 戦略オプションの評価と選択
- B. プロセス継続性応答
- C. 回復リソースの統合

Answer: A (メッセージを残す)

説明

戦略オプションの評価と選択は、各重要な製品とサービスの回復ニーズをサポートする戦略です。この戦略には次の手順が含まれます。

回復オプションを特定する: ビジネス影響分析 (BIA) とリスク評価の結果に基づいて、重要な製品およびサービスごとに考えられる回復オプションを特定します。復旧オプションは、目標復旧時間 (RTO) および目標復旧時点 (RPO) 以内に製品またはサービスの提供を再開するための代替方法です。回復オプションの例は次のとおりです。

代替サイトへの移転、相互扶助契約のアクティブ化、クラウドベースのバックアップの使用、サードパーティプロバイダーへのアウトソーシングなど。

回復オプションを評価する: コスト、可用性、拡張性、互換性、セキュリティ、コンプライアンスなどの基準を使用して、各回復オプションの実現可能性、有効性、効率を評価します。各オプションの長所と短所を比較し、回復ニーズを満たすための適合性に応じてランク付けします。

回復オプションの選択: 評価結果と利用可能なリソースに基づいて、重要な製品とサービスごとに最適な回復オプションを選択します。選択したオプションが組織の事業継続目標、ポリシー、戦略と一致していることを確認してください。選択の理論的根拠と正当性を文書化し、関連する利害関係者に伝えます。

戦略オプションの評価と選択は、組織が BIA とリスク評価の結果。この戦略は、組織が障害発生時に重要な製品とサービスの継続性と回復力を確保し、リソースと機能の使用を最適化するのに役立ちます。参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、第 3 章: 事業継続マネジメント システム、セクション 3.4.2: 事業継続戦略、19 ページ

ISO 22301 監査電子ブック、第 5 章: 事業継続マネジメント システム監査活動、セクション 5.3.2: 事業継続戦略の監査、37 ページ ISO 22301:2019、条項 8.3: 事業継続戦略とソリューション、18 ページ

最新問題: 63

_____ は、組織が戦略を策定し、それを行動に変えるために使用する統合されたプロセスとツールのセットです。

- A. 管理システム
- B. 経営管理体制
- C. ライフサイクル プロセス システム
- D. エンタープライズ管理システム

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 64

報告書草案は、回答者から提供されたフィードバックに従って修正されます。

- A. True
- B. 偽

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

報告書草案は、回答者から提供されたフィードバックに従って修正されるのではなく、監査チームリーダーの判断と裁量に従って修正されます。回答者からのフィードバックは、監査チームのリーダーが監査レポートを完成させる際に考慮する入力情報の1つにすぎません。監査チームのリーダーは、監査証拠と監査基準に基づいて監査報告書の内容と結論を決定する最終的な責任と権限を有します。監査チームのリーダーは、監査報告書が正確、客観的、明確、簡潔、建設的、そして適時であることを保証する必要があります¹。

参考資料: 1: ISO 22301 監査 eBook、第 8 章: ISO 22301 監査の終了、セクション 8.2: 監査レポートの完成、128 ページ。

最新問題: 65

どの目標を簡潔かつ明確にすべきでしょうか？

- A. 明確
- B. 曖昧です
- C. 時間ベース
- D. 測定可能

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

明確な目標とは、簡潔かつ明確な目標であり、明確で正確であり、疑いや混乱の余地がないことを意味します。明確な目標は、組織とその利害関係者が何が期待されているか、また目標の進捗と達成を測定する方法について共通の理解を確保するのに役立つため、事業継続管理にとって重要です。明確な目標は、曖昧またはあいまいな目標から生じる可能性のある誤解、対立、紛争を回避するのにも役立ちます。

ISO 22301 によれば、事業継続目標は事業継続ポリシーと一致しており、必要に応じて測定、監視、伝達、更新可能である必要があります。また、スマートである必要もあります。

具体的、測定可能、達成可能、関連性があり、時間ベースです。これらの基準は、目標が明確で効果的であることを確認するのに役立ちます。参考資料: ISO 22301 監査電子ブック、第2章: 事業継続マネジメント システム (BCMS)、セクション 2.2: 事業継続ポリシー、25 ページ。ISO 22301 監査電子ブック、第2章: 事業継続マネジメント システム (BCMS)、セクション 2.3: 事業継続目標、26 ページ。

最新問題: 66

PDCAサイクルのActフェーズは改善からなる？

- A. True
- B. 偽

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

PDCA サイクルの Act フェーズは改善から構成されます。Actフェーズは、Checkフェーズに続くPDCAサイクルの4番目で最後のフェーズです。Act フェーズでは、組織は Check フェーズから学んだことに基づいて行動を起こします。Check フェーズでは、Do フェーズの結果を監視および評価し、Plan フェーズで作成した計画を実行します。アクションは次のいずれかのオプションになります1:

変更が成功した場合、組織は変更を標準化して安定させ、結果と学んだ教訓を伝達および文書化できます。組織は、さらなる改善の機会を特定し、異なる計画で新しい PDCA サイクルを開始することもできます。

変更が成功しなかった場合、組織は失敗の根本原因を特定し、それに応じて計画を修正できます。組織は、改訂された計画または別の計画で新しい PDCA サイクルを開始することもできます。行動フェーズは、組織が前のフェーズからの学習を組み込むことによってプロセスとパフォーマンスを改善するフェーズです。Act フェーズは、組織が改善を継続し、問題の再発を防ぐのにも役立ちます。この法の段階は、事業継続マネジメント システムの国際標準である ISO 22301 の第 10 項に沿ったものであり、組織は是正措置を講じ、不適合に対処し、顧客満足度を向上させることによって事業継続マネジメント システムを改善することが求められています2。

参考文献:

ISO 22301 監査電子ブック、第 1 章: 事業継続マネジメント システムの概要、セクション 1.3: PDCA サイクル 1 ISO 22301:2019 - セキュリティと回復力 - 事業継続マネジメント システム - 要件、第 10 項: 改善 2

最新問題: 67

組織の管理階層の概要を説明しているものは次のうちどれですか？

- A. 企業構造
- B. 法人向けサービス
- C. 企業改善
- D. 企業防御

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

企業構造は、取締役会、経営陣、事業単位、部門、チーム、個人など、組織の管理階層の概要を示します。これは、組織メンバーの役割、責任、権限、責任、および報告とコミュニケーションのラインを定義します。企業構造は、組織の文化、価値観、ビジョン、使命、戦略目標も反映します。組織にとって、事業継続管理システム (BCMS) の導入と運用をサポートし、事業継続の目標と組織の戦略的方向性の整合性を確保する、明確で効果的な企業構造を持つことが重要です。参考資料: ISO 22301 監査電子ブック、第 2 章: 事業継続マネジメントシステム (BCMS)、セクション 2.1: 範囲と目的、23 ページ。

最新問題: 68

知識とスキルのプロフィールに基づいて役割と責任が決定されているのは次のうちどれですか？

- A. 評判
- B. 施設
- C. 人
- D. サプライヤー

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 69

政策文書は、目的の枠組みに従って作成されます。

- A. True
- B. 偽

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

ポリシー文書は、組織の戦略的方向性、背景、関係者のニーズと期待から導き出される目標の枠組みに従って作成されます。ポリシー文書は、組織の事業継続管理システム (BCMS) に対するガイダンスと方向性を提供し、全体的な雰囲気と経営トップのコミットメントを設定します。政策文書は、BCMS の範囲と境界、および関連当事者の役割と責任も定義します。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、28 ページ。ISO 22301:2019 規格、第 5.2 項

最新問題: 70

リーダーたちは、BCMS に対する経営陣のサポートの重要性を強調しています。

- A. True
- B. 偽

Answer: (解答を表示する)

説明

リーダーは、BCMS がシステムの成功の重要な要素の 1 つであるため、BCMS に対する経営陣のサポートの重要性を強調します。ISO 22301 Auditing eBook によると、リーダーシップとは、組織の事業継続目標を達成するために人々に影響を与え、指示するプロセスです。リーダーシップには、BCMS のビジョン、方向性、戦略を設定するだけでなく、シス

テムの実装と維持に必要なリソース、サポート、コミュニケーションを提供することが含まれます。エグゼクティブサポートとは、BCMS に対する経営トップのコミットメントと関与を指します。経営陣のサポートにより、BCMS が組織全体の戦略と目標に沿って調整され、必要な注意、予算、リソースが適切に提供されるようになります。また、経営幹部のサポートにより、BCMS が組織の文化と価値観に確実に統合され、従業員、顧客、サプライヤー、規制当局、一般大衆などのすべての関係者に確実に伝達されます。経営幹部のサポートは、破壊的なインシデントに対応し回復するための組織の準備と能力を実証するため、組織の回復力と評判にプラスの影響を与える可能性があります。リーダーシップと経営陣のサポートは密接に関連しており、相互に強化し合っています。

リーダーシップには、BCMS を確立して維持するための経営陣のサポートが必要であり、経営陣のサポートには、BCMS を導き、指示するリーダーシップが必要です。リーダーシップや幹部のサポートがなければ、BCMS は効果的、効率的、または一貫性がなく、望ましい結果を達成できない可能性があります。参考文献: ISO 22301 監査電子ブック、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、および 27 ページ。

Valid ISO-22301-Lead-Auditor Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing ISO-22301-Lead-Auditor Exam! GoShiken.com now offer the **newest ISO-22301-Lead-Auditor exam dumps**, the GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com ISO-22301-Lead-Auditor dumps with Test Engine here:
<https://www.goshiken.com/PECB/ISO-22301-Lead-Auditor-mondaishu.html> (102 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)